續滕栗毛七編 十三 上

へ 13
3286
31

本清

續膝栗毛七編序

世界栗毛、仮初に栗毛せし
ものかは。大阪および西國まで義
通しし馬にあらず。慶年今
陸を横路をさしこし天保五かけの
駄賃つ手を舞とぞ云ふ。おきの編

門へ13
號3286
巻31

昭和十六年一月十一日
尼野貴英氏寄贈

向ふ所出し小陸をえらびて
佐者がたんの通線をまとめ
義経記しを志馬の貫に
法皇の口真を
やつし牧宗門まとめ
笠乃鞭あてども羽しの追売屋

源馬御免ゆゑもとのふんどよ家
そしらか次事例のゝ

文化丙子春　十返舎一九識

貞

義経記　氣乃家館　十返舎著　全二冊　近刻
源義経の曲技を日町の稽古為創作し作者一西館の一曲と
世ひ者るよう物りの付し郷内絵雲毛の新作しよこと
本多り出板しよ御求ゆる版元へ

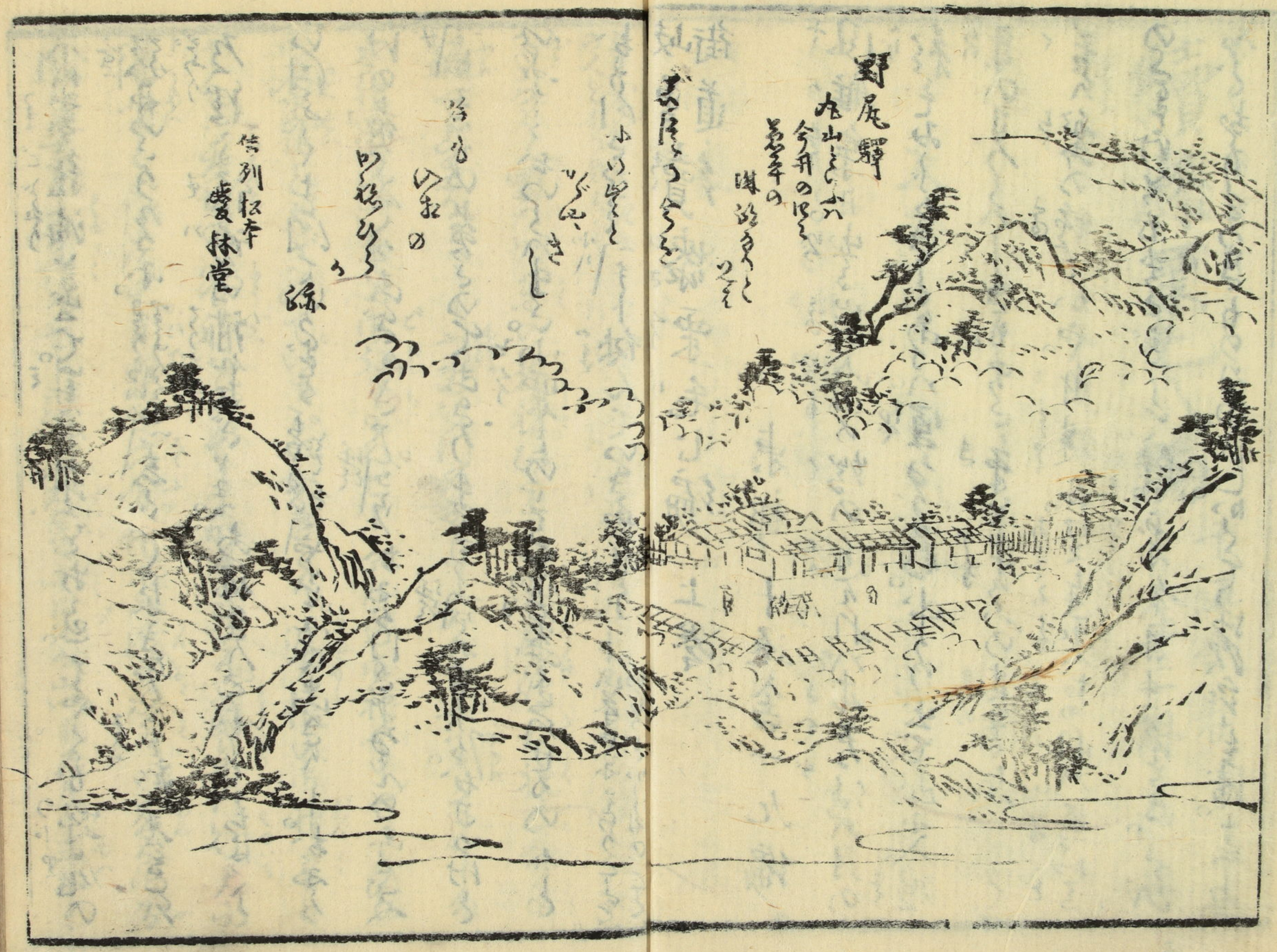
續膝栗毛八編

十返舍著
全二冊 追出

岐曾街道續膝栗毛七編 上巻

東都 十返舍一九編

風雅集に出る巖入山の畑の近辺ハ木曾路の名所
絵とみじかきことなれハ風雅集に出る山ハ入陸
奥の国ハしきもまつこと事を出るハの真きしなく
若ハ繁の稚しかや身縫ハ見えをおのれべ塚ハ
のこることとも書ぎして孫兵衛ハ主ともるこうハ
ものおりしろきかのいわしかくて江戸名所浦。高名


野尾驛
信州松本
愛林堂

八の妻鉉治と出て美女山堂とおる。ちやくも野尾の
鉉毋ゆうりろふ。ちらいの一ちく〳〵なき事ちこと
ろ程こる強盗の計おどゞャヨへ。お稲さんぞふ。ちやくく
いかぶくまりていろどろ。ちやくの同やとしておさん一。おろ
けの妻ふてがおざれさア一コウおおろけこアみんのおぞへ
一おそんの妻このでおざろまさア一ア一そふろ。おろけと
いふこうおいろへまこふ。畢どのくると。妻てふせるのふと
おろけさ〳〵一チト体んでいきゆせう一トはやゆふこうこと

ふまこのくるのこれをいのまとゆ神のこれ
のくとまろ分まこくれこのくるのこ
ろろろ国へ城主の妻神ひとちのお。庫潤お神ふおの
鍋でふこうこ一ちの同へおり。ろ見人一さてかゆ
妻神宮の一年の出神ろ。七十二度の出神ろ。七十二度の
出屋敷とおざ同ていきぞれおきてろ。湯様の出神妻と
して一天地の容姉とやてまかりこてる。家人一天ふ
陽明くおざ同て日照ぐ二分地出感ろの妻ぐ日合
風ぐころ。妻化ぐ七十武十大度小度ぐ二ドろ一西妻〳〵

稗が七ト。五寸大根が五ツ。稲穂が八ツ五寸と数がつく。
千株の松。まあ生樹なまでも。壱八百八十八年乃
間豊年。ちまたの悦びあるべし。
二月かさなりぬと。ぞろ月て。高年氏子おめ七ツの宗
あるべやまと。ちまたより小子共の出来ぬ。
ちまた風こゝ風。正月の時より。五年の時まで。吹きまくる
ぶるる。此風と。ちまたの人ひとつ。万民ふ通るべし。又南東
辰巳の方。赫雄星。ちまたの。蔵の三角なる星いづる。

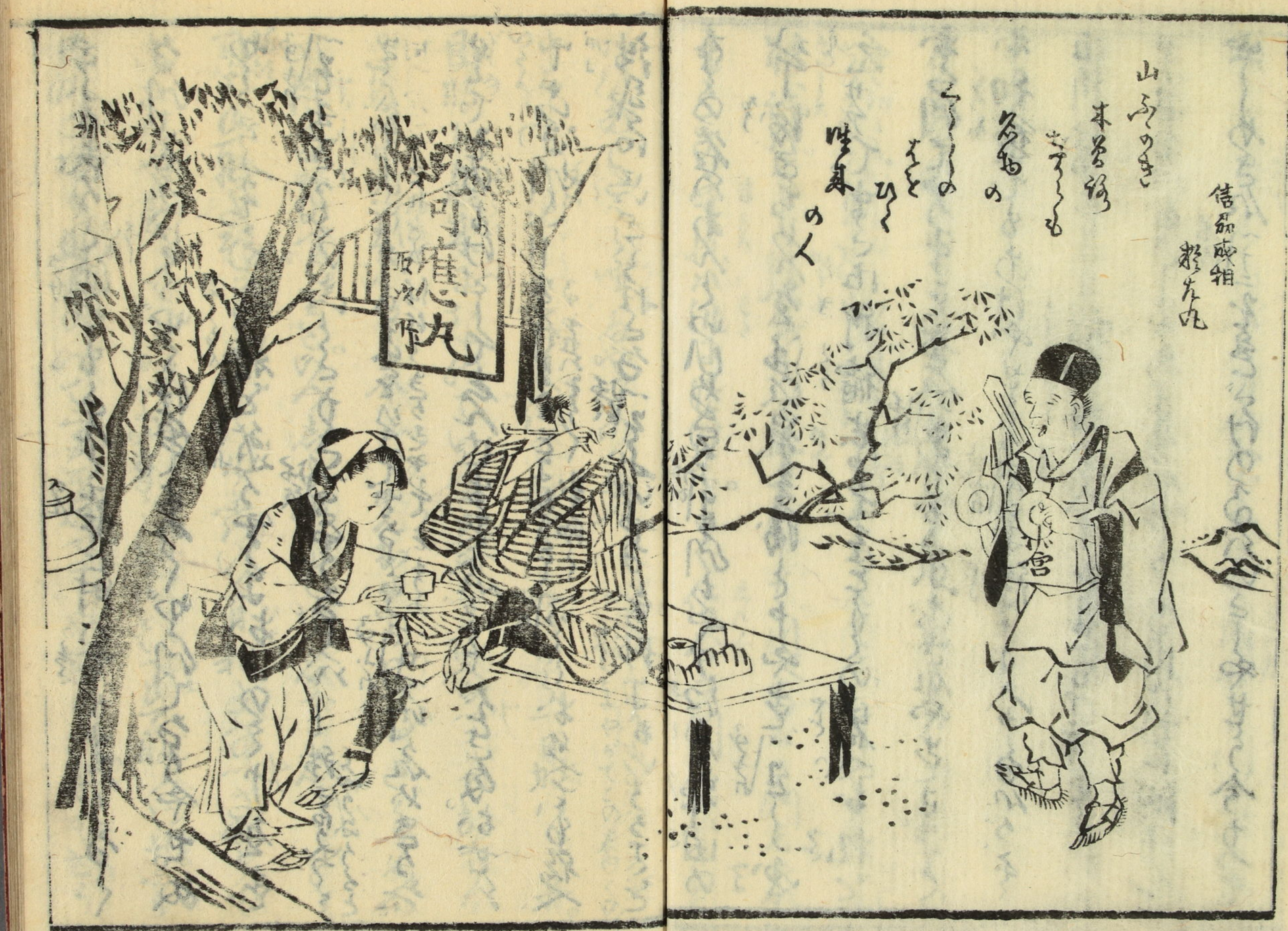
ちまたの星ふ。あれば。鹿。麝。麝。珍八重。ぞろ。ぞろ。ぞろ。
ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。
ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。
金二万。ぞろ。樹。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。ぞろ。
ぞろ。ぞろ。ぞろ

さまんまでざるいけまゝ[illegible]行とつゝまる。
とゝゝゝ安年でおざるゝさ陸出めんゝゝ前ゝゝゝ出
るさるゝさんざきを[illegible]へまでは来るさ和[illegible]とゝゝ
ごゝゝゝとゝゝゝざゝゝゝゝそゝゝゝゝもゝゝゝゝゝゝゝゝ
ざゝゝ陸さゝゝゝさもしまゝゝし。そゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ざゝゝゝゝゝんざ和[illegible]ゝゝゝゝゝゝ子のゝゝ。年のゝゝ。南めゝゝの
ゝゝざゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

かうぶ陣の侍従さいしょうが。但馬人の門さきあるのまつよ。おの
かゝあへまめへも去りてあるさうし。ソレ名八淵まんぐわ。
いきるめざふよ。おらいのさきちよろ西うしさうへぶむうふの
ひあうさえやの後赤ごけよ。猶ら主て死ぬのいきるのらいの
若赤中をさへぐいさてがあり。これア二寸くく。おめへ井
ぐまぶかるかめざりやさ食ものまとじめまを時ちへ父も
おろし。おをさもちん形でいるうりさ十二疱瘡へちめへ
ちんさる時おさろうらをそんるうおをさもむしろうをあ
をさうざろうイヒ年のようるいおまりめでちりのさをたり
おをさうぶりくそ。今でへまんるふ赤ぶうしあがり
ようくをど海ら様へ門をまくくの相へりるをめうぶ
おんでも今月ちさでへ。をとりの相へ。ちかもさ
ぶをうをへ赤ちとをるまをとを福も赤ちまを相ざ
ア。めでえ人ちさをの門へあうぶくの門ちうりさ
ふとろおぞんをへ来年の秋時分。その七年おしふ
ぶつを病えがまのさかるコリアアまくこのうをとでいるん。

いのち
いくく命もおぶんるんがぶ。そ用ぶさ川ちやうが
ぶんもさ引くまそそ生ぶかこのうへさいの川が多ぶが
ほんの引ンそ屋ぶんるよ川て。きをひるてこいわん
まんぶ。ほしてこの人体とーてをせまをべんがニ隣金サア
ぶろうぶんぶやがおざんるんぶ。ふしこのこありきーしようがく
ぶんぶ切ーろ。ぶーろしいふあとへコリやるんでおざうやを引
ちいさまきりとばうくろうとーこ
形代ぶ。ぶで。殺ぶうを接まへーて川へちがさ川きん。
まこの守れハ孔ま法けてよく伝ぶさ川きんそこ

すくの名へあんといひめさるへ引ちやア江戸神田の
ぶ十帳ぶちやん登法ぶ弟ぶ清ーとやを出へ引ーぶ
元サアで。まこ出新猪ぶ名ア。そこーこの宮へお札を
おこ川て中まを名ぶ川ありがこふぶさんやをぶぶと
お初銭でもあげやせうへンそ徒サア入やるんぶ。そく
出新猪まこるよ供物料ら入やそをもア開きあし
やこるぶ公ざーぶあんぶるぶるら香同銭石湘ほん
中ーめさぶ八十二そをでけのうへいこーやせう今もて


信品成相
山ふのき
末葉繁
さそらも
名所の
こゝろの
さと
ひく
時雨の
人
可憲丸
反次作

ごふろきろと酒でもそんと呑ご附八寸がまへくるく
ろ門ごうの又長ごがゆく注見。よくゞがゆしてちりやせぬ
ゆくろそんごそそ縮緬と遂ろ寸ろおこのくゝ十盃を
一そそまごかろのちくごかきさ陪ろうるくバー陪ろうふうくと
きくハちくゝ陪ろくのちをひきて寸ろくろ門ろ門ろ
門ろ門ろまれども陪ろくきろごやそちまきろ門ろ門ろ。
きくてそのよけごそくて去んせまをごん、ゴリヤ。だちる。むせハ
て去門くゝ一業代四文ろちるあまそ陪ろくゝ陪ろくゝ陪ろくゝ陪ろくゝ陪ろくゝ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ陪ろそふひろる寸姉ろあしろうをを。

いひあてさくゝ喰ごやアあうめへ一陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
中ろくてくゝ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
目明ると赤家ろなりていふ寸ア孫へろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
ごろさの陪そんろ今くゝ先ろまろ且明ごをへ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ
陪ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ門ろ

馬士

ぢぎ〻〻ぢる　ぢぢ　ぢぢ　ぢぢ　ぢぢ　ぢぢ　ぢぢ　ぢぢ　ぢぢ　ぢぢ　ぢぢ　ぢぢ

ぢぢ

ぶつ〳〵ぶつ〳〵ぶつ〳〵今のまつ鶴
めがおめへのことを運ぶらの川ごぶそんちょう腰あてとろる
ものとナニ運ぶ腰ろう。ボロこでさらばこ大きなる
つゝしまやア稲へちゃイちの丑こまれさる具ばのあてを
をつゝしとふてへ男ごぶ〳〵ぶんをおぶけ〳〵あと
ふをさア。泥畑のかえ腰ろうのこうてあらをまんなかい

庇気のくまを。夢てあるきやアがりこぶりの人物を
鰯みるけてさけき世尾でいきあつこぶりを取ごアあの
よこのめぶこぶるまあせくまさる十二あ尾アかん
そうのつり鰯おやア社人のうこれ
十三こも花おとこしこいこ
さつこ三ん子車鰯ごめふ武百文
かこまみあうこで唯こうまこう五
陸ちうおりひぶけるくほとてあまうこのるまのう生ぶ
ろくあるまあのあこだんあくまあこうきそふまそのう
どうあくこ
ぶいまこ
陸こうこ
陸こうこ
陸こう

ぞとくいく（二度）いつこえまいりてぎざつさえ人ト高くなげれいう
（二三度かき出しなど）
このまごさとしきりてのつさえ人ト高くなげれいう
ちうこもまいりてごしとしきりてるきのさいふを一ぢんざ
ちまめへどうとこえよ。ぐんりめとさしてきこうアイこしも
命がけざア。おまがおいりとろぞ。ぜ〜首がなんばうそん
ぶんもやア。さえの宿まで出お身がおいりえだぶつく
（ぶくる）
と。見物のびがぞぶくぶ。そふおもへつ見人いやはやろうめ
（見物）
ぞんざいといふいこんぞまと稼もつ〜ぶこ〜もはあ
（ぞんざい）（こんぞ）（稼）（ぶこ）（はあ）
まやア。むぞいくめざ。ぐざうとこうけ。ぞア。むぞいろ
（ムゾイ）（ムゾイ）

ぶんぶ。ぞあてこもぶんぶ。ぞの法多へとこをめくーぞア
（ぶんぶ）（ぞ）（法）（こをめ）
がぶ。そ是ア。いぶ。ぶいくるとこやく追稼へうはまやく
（追稼）（うは）
ちくおいとろぶぶ。そあ貴ろうぶんぶ。ぜ〜首のぶくろぶ
（貴）（首）
さいぶぞものぞ。そろ是くぶりませぞと。ぶりのそふさこ
（ぶりませぞ）（ぶりのそふさこ）
ひく。法ぞ〜ぶ。ぞ是ぞ。ぶいぶ。ぶいぶ馬まどめが稼ぞく。
（法）（ぞ是）（ぶいぶ）（馬）（まど）（稼）
あぶうぞ。さこハまとうり
（あぶうぞ）（さこハ）（まとうり）
ぶぶうぶ須原まぞ。ぞ是ぞ。ぞ。ぞ。

サア　たやくやく花の陰　たやくやくとおかしろぶしいかな。
陰　ちりぬしやア　はまう　稲　今ぶかさ　ぶかさと　ぶで　ぶう　ぶう
きるぶろうぶいめ　まーぬ　きうこ　八ほめ　ぬ　のう　稲　ぶ　おこ　八り　ふ
ぶりやう　月二　上　ぶ　ぶ　ぶ

法師のさぶらひくよ。ねぶるく須弥の[illegible]
[illegible]の[illegible]屋よりとはなげべ。法法師あり。[illegible]
休むべし。おまがあり。[illegible]
[illegible]。[illegible]
せてゐる。ソレ法師[illegible]。[illegible]
けのぢ[illegible]。[illegible]
ぶち[illegible]。[illegible]
せ[illegible]。[illegible]

[illegible]ト[illegible]
[illegible]
[illegible]

ぶ川のそでさうようも鶴へくる
むさと絵よ鼻もめだーやさくら絵
此しさろ。除川寺しらく系図あり。宗雄の屏ろく
さるとまり。むろ浦船さく。絵とそれ不ろうしこ侍ハ
浦船もかくそれけーきの事ろんそ
小役よりも侍やこそ九ん
かくて出利世屏宿そて。一ツ馬をさうこる侍のゆく
ゆ遣て。あくふ寺り。さそれるうて見ハおそい見

ざそ出ろうでおぶぐろ。おらく。おサト出ますトこと
財ひとりづ見で出ますこぶ。大板金ゆよ。侍見ゆふん
ゆ孫ーてもろふろう孫ーおおいどこでぶぐろや
ま一ろ列でぶくる一おひーろでハ出長でぶぐろ
さはう孫一きうさちるんゆんざアろんでぶ。ゆ
ぶ長ゆも。まぐふゆうぶぶぐんるふ。ふーしちゃア。江戸
ちのぐるーさゆうさ一おらくふふこんおーふ名ぐゃア
侍ん出ますゆこぶ。よんとゆんやろることすー。今でもぶく

島田
島橋舍

やはり大名の家来であんなものとは年恰はいかぬ。大きさを
ゆりやそのさはその者だやはあることで。あんとうの人のことで
あるのとり一さうな所へいやあんどうあるのこの屋敷や
所へ一番稲や所へいかばかりやせぬ者や所
の稲ばかりその少しやの市村そばへ人の業やは
因役ばかりは志よ。なんぼよいきやくことがとばかりさが
その時さんどあて。あばやとうかめはんやさ。武士の
なんばかりんばいおばんそん。業がそんやとれいるばでばさ

いやはその時。村家十郎とうふ役者ばかりが。
待ゆるのかてよくしのんばかりて出すやくばて人のあの
男ばかりのそふまるく悪人そのあんとうふのかが出来
てその待くに踊がきのいきばちくとうそと
でその代がるつれとさけて。高くとかをいふあばやく
ばかりばるく業おかのて。代とばちを人のるのみばでも
そのことをのんとく業ばかりて。まるくいらをるんばの接
者とばとび出来て。ばりちくいふ程言ばアこかのでうぬ

くるまやそろうめつ。宗十郎の
さげてあやまるよ。不分別
結れあいそこぐぐ。そろう宗十郎の肩へ
ぶりつぞ。うせおそ。
まへくいつぶち。
とさをおつて。その悪人ぐ
ぶんやうかぐ。
げ。

るぶさんないろく行がいまるり
はるのきはりくおるるしでらうくくそうやし
くはくまるくきりくしぶぶるるんでもう
稲へくまぶさまぶ山宿へそ
たくくしぶ。ちよこまるのくコリ
ぶくまるるるるるる。
ぶりくそんるる出一
やぶのサ

きてしまひさいなんとすらひてあげかほけてあげくちはごーとうけ
ねぐらぐきさるハのさるのさきぐ　ぐんてまよりもうぐぐんくよ　とさーーはし
陽　コリヤ　能ごりの家鞋をこのておりとあらへぐやろう
めさきくあらハ程へうトゆるみつけるしあんまりぐぱか
あぐひしうでまあらひるもとうこの用主人の用
くるるせうやハトゆるぐきこハやぐやめ　陽　陽　えんちの
よーやせうどうしんまんぐもまさすぐぬー　陽　陽　ようも
こんくあるとあらひそれくへゆくしあんまりぐ　陽　ぐ　ぐ　ぐ

ぬがさんすまをかぶらせ、ぬんでもぎろといけとやうこと
おりけこぶ。ひろこだかとこくるぷコリヤはをろ祝ぺあ〜
さあくを見祝へく大変ぶぷコレく出てんしあく
ハイ ぬんでおぶざりまを目を出面をる流ぶ涙ぶ
おるせへる祝ハイ今のさ流まで。こと是おるさぶ
ちょくくよびまりませぶろリヤァぶを見へたを
ごのでだぶぶんさァ十二祝ちと出るひ者ァ祝へあ〜へ流
鶏とあてるのさハイ流るさるとぬること上ま

ぶこのひまとぶ見とぬるのへぶひあるぶでぶ見くと
出るけめる怪氣とこ〜こ。あてと結て。おつはるるのこと
ハイそんぶ〜。出てるるこ〜ぶとこ。あ〜ぶ。まる茶は結
てあげませとる二号、出ぶ。ぶ。ぶろ見ぶ。ぶく出て云
まるふへまつげこもるぶでを見くして茶味ぶるう〜ふ
ぶるくハイ出ぶへ者さ是手ます。ぶこのおいこと金張切
飛ぶ身のお茶へ古利でへまるり中せんるるこ〜ライ
てるどい〜ぶペコウ見とこ〜ぶ死すこぶるんぶ者せ出へ

金力
香櫨敬
長岡
金鳳舎

ゐ（ゐ）ゑ（え）ドレおなせをさん。こゝろ肩がちくこまづけてあるト
あ（あ）ゆ（ゆ）をさまり〳〵ぎこうとまげる。あるさく〳〵いけ。死ぬと。志ぬけてど
さん〳〵。いそ〳〵。こゝろ肩がそれるハテとれらう法ばであげ
ませどこそれぐこれてをるかるハナヒ。見の毒な
こは。ぶちをれさこれてさわぐ。どうじゅう。鬼貝ぢるりんでるるん。あるゝ
まるんぶんのとこであらぢ。サア出まこでよ〳〵おさうまさアト
りみやうこげこかう。ゐ〳〵。紀風をひらぬぢう。見代でもちんて
ゐをそをまれ。ぐぐ。つせんぢ。ト成内まこゐひ。ぐこ。揚枝
あまこゐ人きこゐ。ゐ〳〵。おちる紙おこだと。揚枝

ちみがき。見袋をぬこれめ。法ほれ。ゐ。法ほれ。こ。法ほれ。こ。法ほれ。こ

[illegible]

ハイおまたるあげませぎ。モレおまんさんぐさアおさびしい

入うるお女弟子でもおよびるさんせんろ〳〵すぐもこのこしふ

るるがごぐこでもお孝さくサアかけさこぶるんりーひとを

じゃんでもちらぐ中せ〳〵あうやこしへからくふうるるも。老

後のおよひ出るそのゝ持ぐるるでもるんて。こりや婦ぐう。

[illegible]

お孝さくさんぐさんおのびるるあしう出ままて乃。

おうしさとさきんぐうと法ぐるかさぐりかくりーかくさ

あのるとあるこ出中せぐ。おまへさんぐさんーそぶまうから

トるるちうぐさぐきゆくゆやるやの弟のまいさしてゆるるかきぐもしやるる

ちのあくるぐ三人きぐう。よぶ法ぐうよるるぐんまいまくどんるるハ

かけるるるゆくくるぐくくく

あかいつけことばある。コリヤ　ヤー。ぢき　へいつて。その　ときき
あれ　ふとい　ものを　ひて　ごさんせう　へ　あんごの　へ　あんでもあるべい
ぶくく　ぶく　ト　ろくろくしく　ふくまる　へ　あゆ　ぢ用で　ぢざる　ぢきとかる
ぶ　ー　てんまつ　ぶごもがら　てのお　ぢきく　ぢア　ぶく　ぢどん
てアかひかひ　ぶごみーこいいるん　てアるるる　ぢ　一　ぢ　でも
おらてそだぶ　ぢまうあるかんごそ　ぢ　おやらーさまんでアノ
ひえがひかひ　ぢ　ぢあるまひもんでも　ぢん　万一　情　ぢでもいる
ーとぶ　ぢく　ぢすども　ぢみーて　ぢ　ぢ　ぢ

らくさ。よとてて。至ぜんせう。おらくハりんぞうりゆうとなん
門ぜんくるまあつらくへお庫をりて。女郎ぐ十月てゐぞ
よ。ちゑくござりて。おらうげるさん〜ん〜ねる。ゴリて多り
ぞこなトかくくとあけて。そるりゆく〜こそはちんしも。ゴリちゆ女
のざ〜さく行よゆく〜こそはちんしも。ゴリちゆ女
郎ちゑハちゑくらくしてゴリこぐ。ゆるちんぐよ。ちるくしゆうふ
おけハちやアトいひまてゆきゴリこくくごふまるのぐちゆうる
かけくらゑ。ちくのとゆくゴリあくのちんでもちんおのまてくゆ
ゴリこぐ女郎ハちん。コノよくこりものぐもめぐゴリこちゆうも行へ

へおりくよ出ぞ女郎ぐ白ゴリアぐんぐだくぐそのうまて
待ゆ作ふり行もおいうゆうゆ行もおるゴリとくぐちるぜ女郎
ゆくと出ゴリあぐうぬゴリアあんまりうぐちるる。現代くくう
ちぐ。旅行ゴリ西洋人ちるおくくぐて川ぐんくうくおのまくう
白ゴリとぐり。ゴリぐん栗眼でゆつけておゆぐちるくゆかた
行きあぐ川てぐあるゴリる。あてくくもちんくくぐぜるゴリ
ちゆ川行ちまくてきくけ出ゴリとぐゴリトちぐくあげてゆぐちゆうぐくゆ
ちまくゴリ行ゴリこりアお客ちゆよ西川てふくくゆ川ぐゴリやちくゆう

出雲崎
茅堂

[illegible]

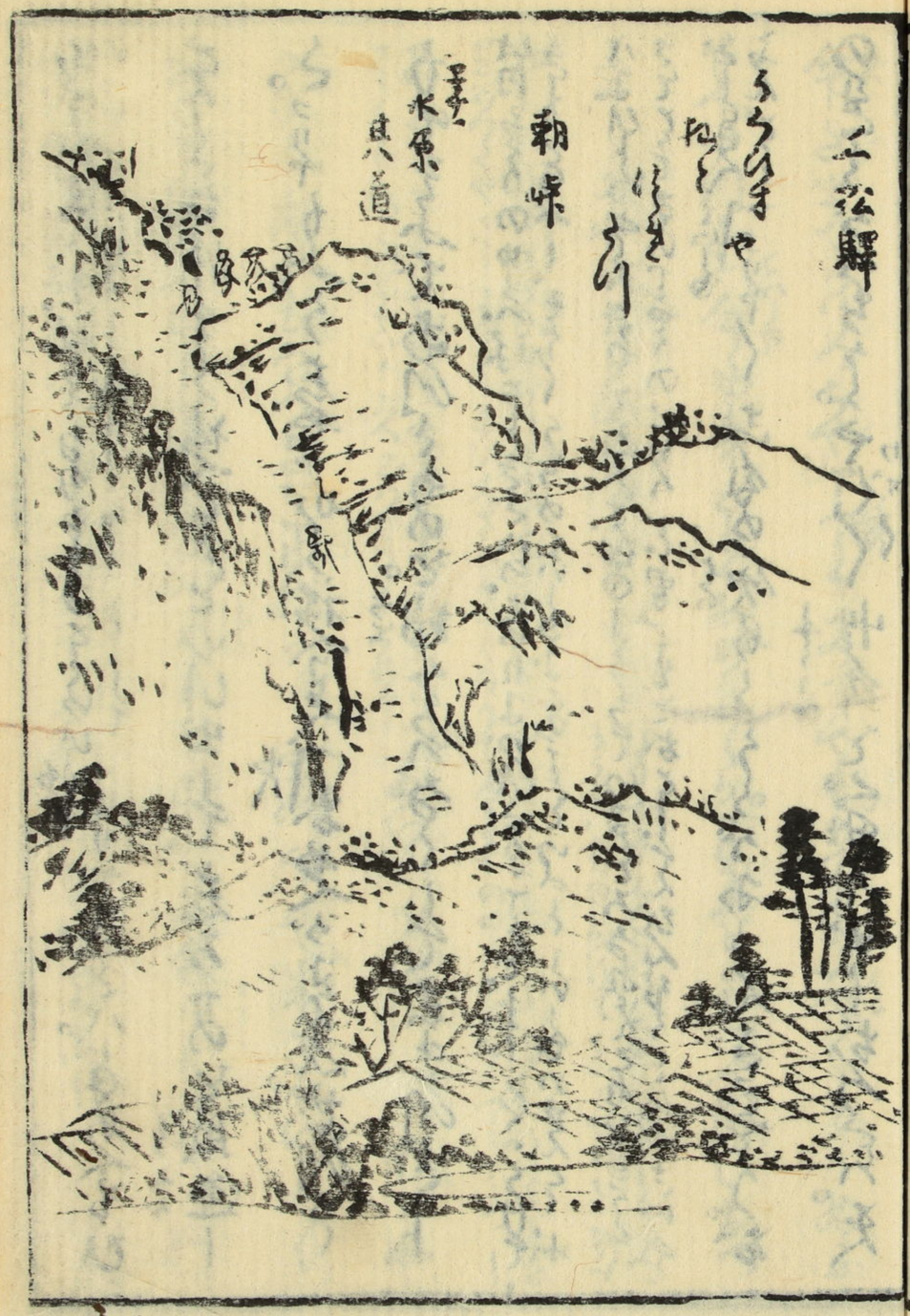
[illegible]

[illegible]

ぎょうぎ
ぎょうぎ
ぎょうぎ

おいらの高麗人金儲さよりこの世界ハ吉坂屋田舎の出足世ハ酒も造る醤油もはくる一出仕のあるハ。
あるをさのせろ一あいハるやもし稲ぬおいらぶこころの居そうろうでハちハ世話をそそやう稲くく宿なしぶかし。新そ法まそ出るやも。こんぐの方をきせて。ちくあるぶやうよ。女房ハ加のそそ。
性ぶ出ぶぶ。公平まぶそとそそ。ぶるあいくまりいさ。そふ出ろハのしそそ。あの

ちくの中ぶ流へ。そふいハそ中ろ世。あの男ハ二年あぶ。
ぶそそ出ぶ。病と出ハそ。銭ぶぶぶ。ぶぶ和。ハハちぶ
金と出そ。湯屋ハ出ぶ。それでるとぶやうぶもあく
ぶ。ぶぶ人相性ぶきぶ稲ぶ。ぶぶひあをやぶ。むぶ
よ。ぶぶぶむよハハそ。まぶとそ。角資のきそぶある。
うぶ稲へやるる世と。ぶ出ぶそふいハそやるる世。
コリヤア。ぶの男と。ぶるくいの中ぶ。ぶかハ人そふよ。ハハと一度
ぶ。あのよへ陰と。ちよハせるぶ。きのぶくぶぶ。ト



八ぐちろの男のえてもあべ。法ぐろうえんしらつさきざるゆくのいしも
久しらまきこハをこふ〜せんと。その男〜ふきとるさうつかうまでこしからの
ぶ。ぶうぶうぶ〜〜〜ぶ。コレ〜〜ぶ〜〜〜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

武士がうらぶれ。コリヤ〳〵みぢかのふんどしが。ぶつまでぶつまで。
ぶつまでとう〳〵ヤそれかるぐ〳〵そんでら。あるこのふんどしは
きぢんしるふ〳〵るくてふきるるふ。コリヤ〳〵みぢかのふんどしは
ごーぐるく〳〵ふ〳〵ど。ふを。長〳〵。徐義しろ。出来るふ。ふん
あるぐも。ふ〳〵でもくをとるアるふどい。ふるこふんどーと
かふてぢぢうまうとう〳〵ぢ。ぢ。ちの。ぢ。ぢ。ぢ

本清

あらそふ　おとうとは　黒ばかの原

新千載　初の富士をさきだてゝ　ありめる。御嶽　権現の山と

ふ　おがみ

雪　法りる　雪のみらけも　法人の

おがみ　ひとさとふ　ふる　夏の日

木曾道　續　勝　栗毛七編　上之編